



令和3年度 清水小学校だより

令和3年9月21日発行

清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子



新型コロナウイルス感染症拡大防止！



台風等の被害はありませんでしたでしょうか。

さて、長崎市・佐世保市に指定されていましたが「まん延防止等重点措置」が、国の指定解除に伴い、9月13日で終了しました。長崎県においては、県独自の「緊急事態宣言」を感染が未だ危機的状況にある佐世保市については、9月30日まで延長すると発表されました。

本市においては、市内の感染状況を示す指標が「レベル5（市内感染まん延期）」ということです。「レベル5」になると、様々な制限がかけられ、学校生活にも大きく影響を与えます。例えば「学校行事は原則中止または延期」「部活動（社会体育）は原則中止」というものです。

それに従い、16・17日に予定していました5年生の宿泊体験学習も、10月4日の日帰りで実施と変更せざるを得ませんでした。来月14・15日は、6年生の修学旅行ですが、今のところ、計画通り実施するよう予定しています。

ただただ一日も早い収束を願うばかりです。いつもお願いばかりで申し訳ございませんが、各ご家庭におかれましても、引き続き感染症予防対策のご協力をよろしくお願いいたします。



聞く（聴く）姿勢が学力の第一歩



「これから〇〇のお話をします。」「体は、目は、どちらを向いていますか。」こんな会話から話が始まり授業が展開されます。最近、子どもたちの「話を聴く姿勢」で少々危惧を感じる時があります。じっとして話を聴く、内容を考えながら聞く、理解しうなずきながら話を聴くということができないのです。聞いているかと思えば、言葉じりをとったり、その時自分の頭に浮かんだことを思いついたように話し始めたりするのです。瞬時に反応はするが、全体としてどのような内容か捉えることができずに、ただ、おもしろかった、つまらなかったという結果のみが残る状況が多々あるように感じられてなりません。

「よい聞き手」は、小さいころから「聴く」という経験を積まないと言われまです。「聞く」ということは受け身の行為でありながらも、実は能動的な活動であり、自分の心を制御しながら全身でもって感じ取ったり考えたりする活動だと思えます。

学校という場は、初めて経験することや道理を理論的に教わること、理解し覚えることなど自分にとって未知なる部分を初めて知る所です。大切な時間を集中できずに過ごしてしまうと、思考がとまり、大事な内容も身に付くことなく、その時間はいたずらに過ぎ去ってしまいます。学力の第一歩は、「話をしっかり聴く姿勢」ではないでしょうか。また、「聴く姿勢」ができていくということは、他者を尊重することができることの端的な表れでもあります。

私たちは、子どもがしっかり「聴く」ように話を工夫し、授業の内容を魅力的なものにする努力をして参ります。ご家庭でも、日頃より、子どもとしっかり向き合い、互いの話を聴き合う場を是非作ってほしいと願っています。

※あえて「聞く」と「聴く」の二種類を使用させていただきました。ご了承ください。

[裏面もあります。ご覧ください。]

学力検査の傾向と対策 No.1



5月末に実施した佐世保市学力検査（4年）・長崎県学力検査（5年）・全国学力量習状況調査（6年）の結果について、その主な成果と課題、改善策をお知らせします。学力の定着を図る検証軸の一つとして、結果を真摯に受け止め、日々の授業に取り組んでいるところです。

※ 全国学力量習状況調査（6年）の結果と改善策については、次号でお知らせします。

【佐世保市学力調査】

→全体の傾向としては、佐世保市平均正答率に対して国語、算数とも上回っています。

1 成果が見られる内容

<国語>

○「漢字を正しく読む」「主語と述語について理解している」「文章を読んで感じたことや考えたことを共有している」「自分の考えを明確にして文章を書く」「話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている」

<算数>

○「わり算の計算ができる」「時刻と時間の関係を理解している」「円や球の仕組みを理解している」「工夫した計算の説明ができる」「表やグラフを正しく読み取ることができる」

2 課題となる内容

<国語>

○「漢字を正しく書く」「ローマ字で表記されているものを正しく読む」「叙述をもとに段落の内容を捉えている」「情報と情報の関係について理解し中心となる語や文を見つけて要約する」「段落の役割を理解し、2段落構成の文章を書いている」

<算数>

○「繰り下がりありのひき算ができる」「2けた×1けた、2けた×2けたの計算ができる」「□を使った文章問題を表した図の構成を捉えている」「□を使って乗法の式に表している」

【長崎県学力調査】

→全体の傾向としては、佐世保市平均正答率に対して国語、算数ともに上回り、県平均正答率に対して国語、算数ともに同程度か少し下回っています。

1 成果が見られる内容

<国語>

○「漢字を正しく書く・読む」「文の中における主語と述語の関係を捉える」

<算数>

○「適切な折れ線グラフを判断し、必要な情報を読み取る」「もとにする量を求めるための立式ができる」

2 課題となる内容

<国語>

○「ローマ字で正しく書く」「文章の良いところを見つける」「根拠となる叙述を捉える」

<算数>

○「分数の意味や表し方について理解している」「図形の性質を理解している」「分数の意味や表し方について理解している」「折れ線グラフと棒グラフを組み合わせたグラフから傾向を正しく判断する」